

2024年1月リリース説明会

HULFT Square リリース機能説明



2024/2/22

株式会社セゾン情報システムズ
カスタマーサクセス本部
カスタマーサクセス部

HULFT



新機能

2024年1月リリース

操作体験の向上

通知機能

エラー・異常
利用状況

スクリプト 依存関係

スクリプトバージョン管理

アプリケーション機能 (正式リリース)

RESTAPI実績

ダッシュボード
呼び出し実績

コネクタ強化

PostgreSQL 15対応

課題改善

7+の修正・改善

課題

HULFT Squareの運用における課題

- ✓ ジョブが正常に完了しているかがHULFT Squareにログインし、確認しないとわからない
- ✓ ストレージやネットワーク使用量に対する課金有無がログインして、確認しないとわからない
- ✓ スクリプトを編集するとそれを呼び出すスクリプトも編集する必要がある
- ✓ スクリプト呼び出しを多用するとその依存関係がわかりにくくなる

課題


HULFT Squareの運用における課題

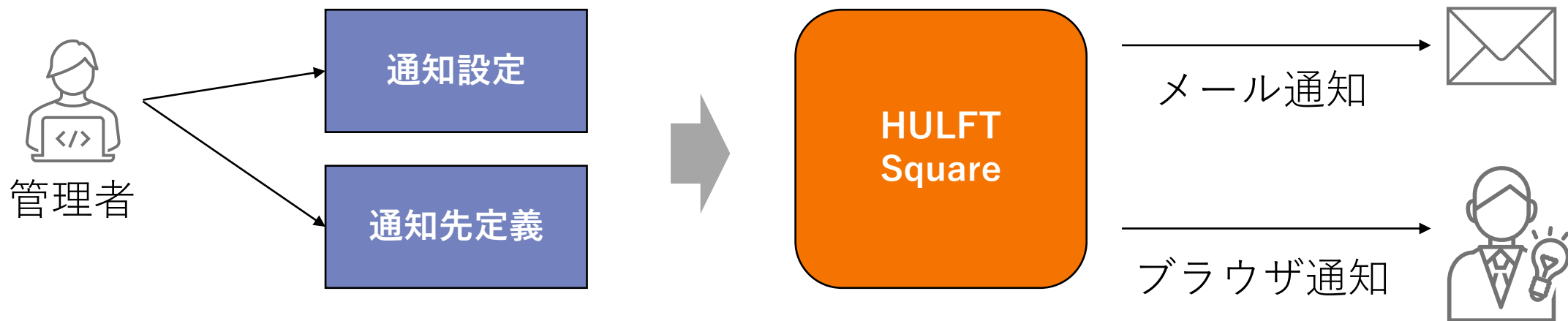
- ✓ ジョブが正常に完了しているかがHULFT Squareにログインし、確認しないとわからない
- ✓ ストレージやネットワーク使用量に対する課金有無がログインして、確認しないとわからない
- ✓ スクリプトを編集するとそれを呼び出すスクリプトも編集する必要がある
- ✓ スクリプト呼び出しを多用するとその依存関係がわかりにくくなる

通知機能

以下の2種においてメール通知を行う

- 異常発生時の通知
- 想定使用量超過に対する通知

加えて、画面右上  にて必要なブラウザ通知を行う



ログインせずにジョブの状況、ストレージなどの利用状況が確認できる
認知したいイベントをWebコンソールから確認できる

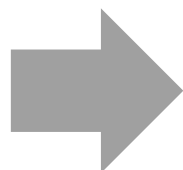
通知機能

活用例

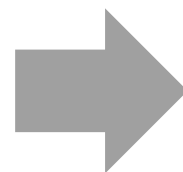
1. ジョブ実行に失敗した場合



ジョブ実行失敗

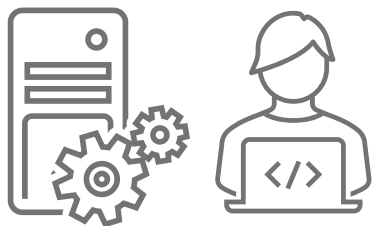


メール通知

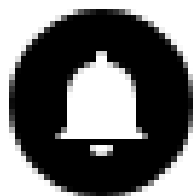
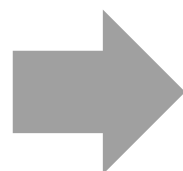


原因究明、お客様対応が
素早く行える

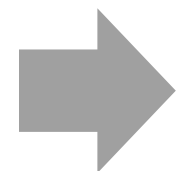
2. Integrateサービスを新規作成する場合



Integrateサービスの
作成



組織内全体へ
ブラウザ通知



作成に気づくことができる

メール通知対象

※詳しくは、[「HULFT Square Documentation」](#)をご確認ください

種類	イベント
サービス	HULFT Integrateサービス/HULFT Transferサービスの起動
	HULFT Integrateサービス/HULFT Transferサービスの停止
ジョブ	ファイルイベント ジョブ実行の失敗
	REST APIジョブ実行の失敗
	スケジュール ジョブ実行の失敗
	HULFT Transferジョブ実行の失敗
請求	使用中のストレージの使用量が通知で設定したしきい値を超えた
	転送されたデータの総量が通知で設定したしきい値を超えた
	使用中のCPUの合計が通知で設定したしきい値を超えた
	使用中のメモリの合計が通知で設定したしきい値を超えた
	VPCエンドポイントの作成数が通知で設定したしきい値を超えた
	REST APIジョブの実行回数が通知で設定したしきい値を超えた

ブラウザー通知対象

※詳しくは、[「HULFT Square Documentation」](#)をご確認ください

種類	イベント
サービス	HULFT Integrateサービス/HULFT Transferサービスの作成、更新、削除、起動、停止
ジョブ	ファイルイベント ジョブ実行の成功
	REST APIジョブ実行の成功
	スケジュール ジョブ実行の成功
	HULFT Transferジョブ実行の成功
ユーザ管理	ユーザの追加、削除
	グループの追加、削除、情報更新
	ユーザをグループに追加
	ポリシーをグループに適用
	ポリシーの追加、更新、削除
	ポリシーに権限を付与
ワークスペース	ワークスペースの追加、更新、削除
	アクセス権限をワークスペースに付与
VPCエンドポイント	VPCエンドポイントの作成、更新、削除
パスワードポリシー	パスワードポリシーの更新

通知機能

通知設定画面

設定  > 通知より表示可能

ジョブ・サービス：ON,OFFを指定
請求：閾値(%)を指定



設定

- ユーザー管理
- ユーザー
- グループ
- ポリシー
- ワークスペース
- VPCエンドポイント
- パスワード ポリシー
- APIトークンの有効期限
- 監査ログ
- 通知**
- メール通知

通知

ジョブ

実行エラー時に通知する *  On Off

サービス

サービスステータス変更時に通知する *  On Off

請求

ストレージ使用量 (%) * 

合計データ転送量 (%) * 

割り当て済みvCPU - Integrateサービス (%) * 

割り当て済み総メモリー量 - Integrateサービス (%) * 

作成済みVPCエンドポイント (%) * 

REST API Job の実行回数 (%) * 

通知機能

メール通知設定画面

設定  > メール通知より表示可能

どのメールアドレスに以下のうちのどの通知を受け取るかを定義する

- ジョブ
- サービス
- 請求



設定

メール通知

ステータス* On Off

通知ポリシー* — Jobs Services Billing + -

通知の種類



キャンセル 適用

通知機能

メール内容

スケジュールジョブ実行 失敗時

HULFT Square Jobs Execution イベント通知

 info@square.hulft.com
宛先 

HULFT Square をご利用のお客さま、

実行中のジョブが HULFT Square で完了できませんでした。 [リンク](#) をクリックし、詳細を確認してください。

何かご不明な点がございましたら、サポートセンターからのお問い合わせの起票、もしくは販売パートナーへお問い合わせください。

The HULFT Square Team

info@square.hulft.com

課題

HULFT Squareの運用における課題

- ✓ ジョブが正常に完了しているかがHULFT Squareにログインし、確認しないとわからない
- ✓ ストレージやネットワーク使用量に対する課金有無がログインして、確認しないとわからない
- ✓ スクリプトを編集するとそれを呼び出すスクリプトも編集する必要がある
- ✓ スクリプト呼び出しを多用するとその依存関係がわかりにくくなる

スクリプト依存関係～スクリプトバージョン管理～

ジョブ作成時、呼び出し先スクリプトが一覧で表示され、それぞれに対し以下の指定が可能になる

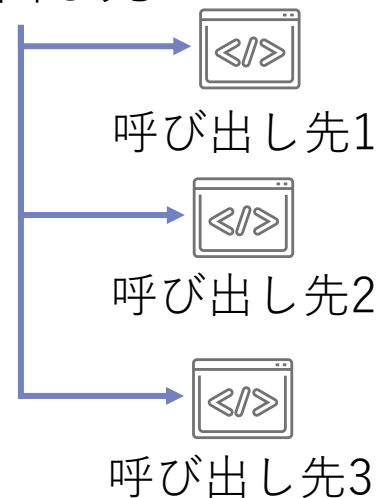
- ・常に最新版を呼び出す
- ・指定されたバージョンを呼び出す

ジョブ

一覧表示でスクリプト同士の依存関係が見やすい



呼び出し元



バージョン5

最新バージョン

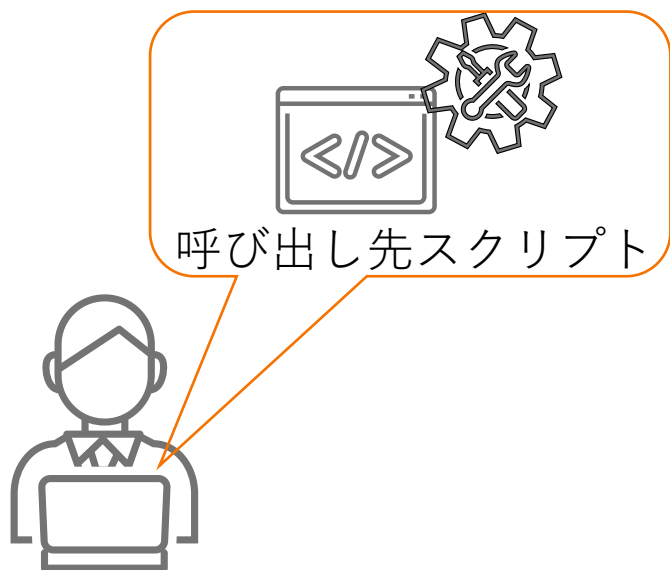
バージョン3

呼び出し元のスクリプトではなく
ジョブからバージョンを指定できる

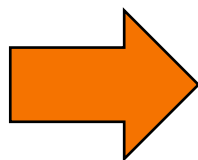
スクリプト依存関係～スクリプトバージョン管理～

呼び出し先のスクリプトを編集した場合

2023.4(1月リリース)以前



①呼び出し先スクリプトを修正



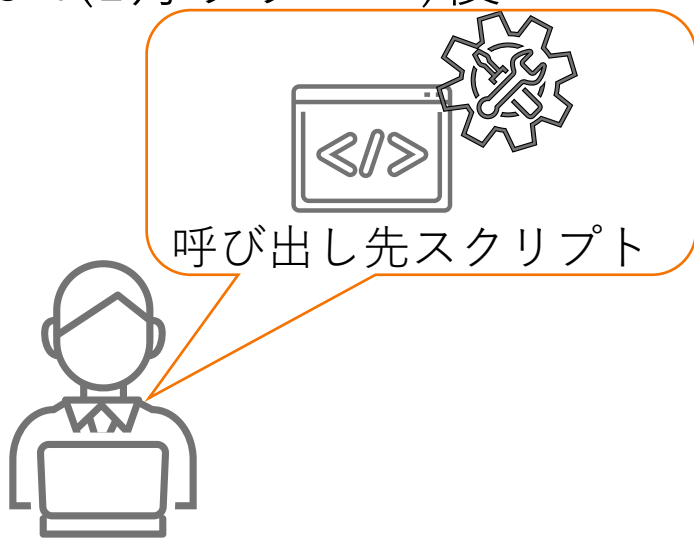
②関連する呼び出し元スクリプトはすべて修正しなければならない

スクリプト呼び出しを使うほど変更する箇所が増え、管理に多くの時間を取られる

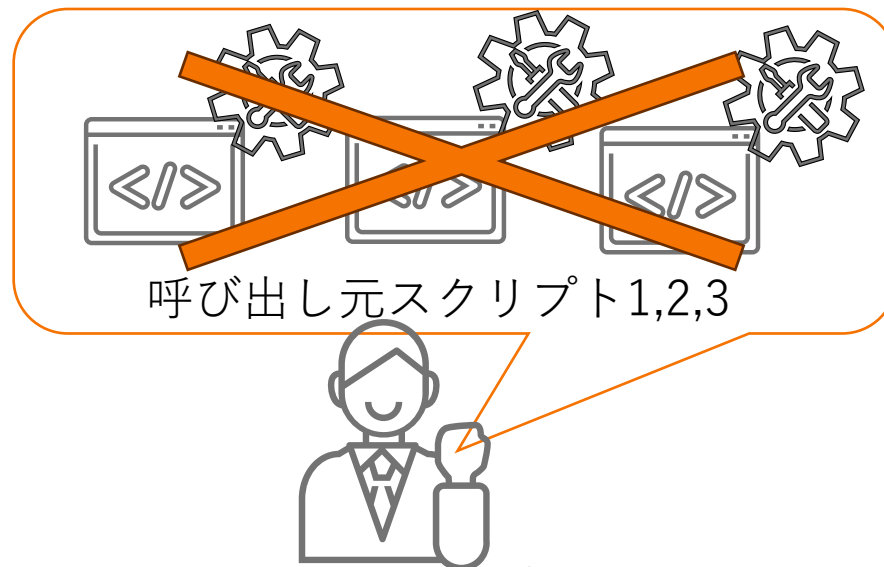
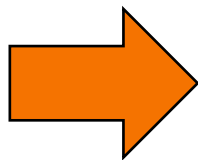
スクリプト依存関係～スクリプトバージョン管理～

呼び出し先のスクリプトを編集した場合

2023.4(1月リリース)後



①呼び出し先スクリプトを修正



②呼び出し元スクリプトを修正する必要がなく、**ジョブからバージョンを指定**

スクリプト同士の依存関係がわかりやすい

呼び出し先スクリプトを更新した際の呼び出し元の修正が不要となった

※最新版を呼び出すよう指定している場合でも一度ジョブを無効化する必要があります

スクリプト依存関係～スクリプトバージョン管理～

バージョン設定画面

1. メイン>ジョブ>対象のジョブの種類>対象のジョブ>： >情報よりジョブの詳細画面を表示(左図)
2. 「依存関係」を選択することで、バージョン設定画面を表示可能(右図)

各スクリプトに対して「常に最新版を呼び出す」または「バージョンの指定」が可能

ステータス ▶ Active

名前

ワークスペース Personal

リソース読み込みのためのプロファイル

説明

ファイルイベント 作成

監視対象ディレクトリー /Personal/data

ディレクトリーを監視 TRUE

プロジェクト

バージョン 2

スクリプト test (Ver.0) **依存関係**

パラメータをスクリプト定義と



スクリプト依存関係

リスト表示 グラフ表示 更新

スクリプト名	スクリプトバージョン	常に最新版を適用	プロジェクト名	プロジェクトバージョン
s90	1	全て選択	Bulk_ProjectS9	3
├─ a91	3	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectA9	4
│ └─ b93	8	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectB9	9
└─ c94	最新 (10)	<input checked="" type="checkbox"/>	Bulk_ProjectC9	15
├─ x95	6	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectX9	7
├─ d91	6	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectD9	7
└─ c94	5	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectC9	6

キャンセル 適用

スクリプト依存関係～スクリプトバージョン管理～

バージョン設定画面

バージョン設定画面はジョブ作成時、プロジェクト設定画面の「依存関係」からも表示可能

戻る

プロジェクト*

バージョン* 18

スクリプト* スクリプトバージョン 8

依存関係

キャンセル 次へ



スクリプト依存関係

リスト表示 グラフ表示 更新

スクリプト名	スクリプトバージョン	常に最新を適用	プロジェクト名	プロジェクトバージョン
s90	1	全て選択	Bulk_ProjectS9	3
├─ a91	3	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectA9	4
├─ b93	8	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectB9	9
├─ c94	最新 (10)	<input checked="" type="checkbox"/>	Bulk_ProjectC9	15
├─ x95	6	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectX9	7
├─ d91	6	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectD9	7
├─ c94	5	<input type="checkbox"/>	Bulk_ProjectC9	6

キャンセル 適用

スクリプト依存関係～スクリプトバージョン管理～

バージョン設定画面

オプション機能でグラフ表示も可能



スクリプト依存関係～スクリプトバージョン管理～

バージョン設定画面

最新バージョンの適用は呼び出し元スクリプトのデザイナー上からも可能

HS スクリプト呼び出し処理のプロパティ

スクリプト呼び出し処理
スクリプト呼び出し処理のプロパティを設定します。

名前

必須設定 入出力 コメント

同じプロジェクトのスクリプト

スクリプト:

別のプロジェクトのスクリプト

ワークスペース:

プロジェクト:

プロジェクトバージョン:

スクリプト:

スクリプトバージョン:

ジョブから呼び出す時に最新バージョンを利用する

スクリプトを開く

完了 取消し



スクリプト名	スクリプトバージョン	常に最新を適用
mainscript	4	<input type="button" value="全て解除"/>
└ subscript	最新 (1)	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="キャンセル"/>		

ジョブ作成時デフォルトで「常に最新を適用」に✓が付く

※デザイナー上で実行する場合はチェックの有無にかかわらずプロジェクトバージョンの設定で実行されます

改善機能

2024年1月リリース

操作体験の向上

通知機能

エラー・異常
利用状況

スクリプト 依存関係

スクリプトバージョン管理

アプリケーション機能 (正式リリース)

RESTAPI実績

ダッシュボード
呼び出し実績

コネクタ強化

PostgreSQL 15対応

課題改善

7+の修正・改善

課題

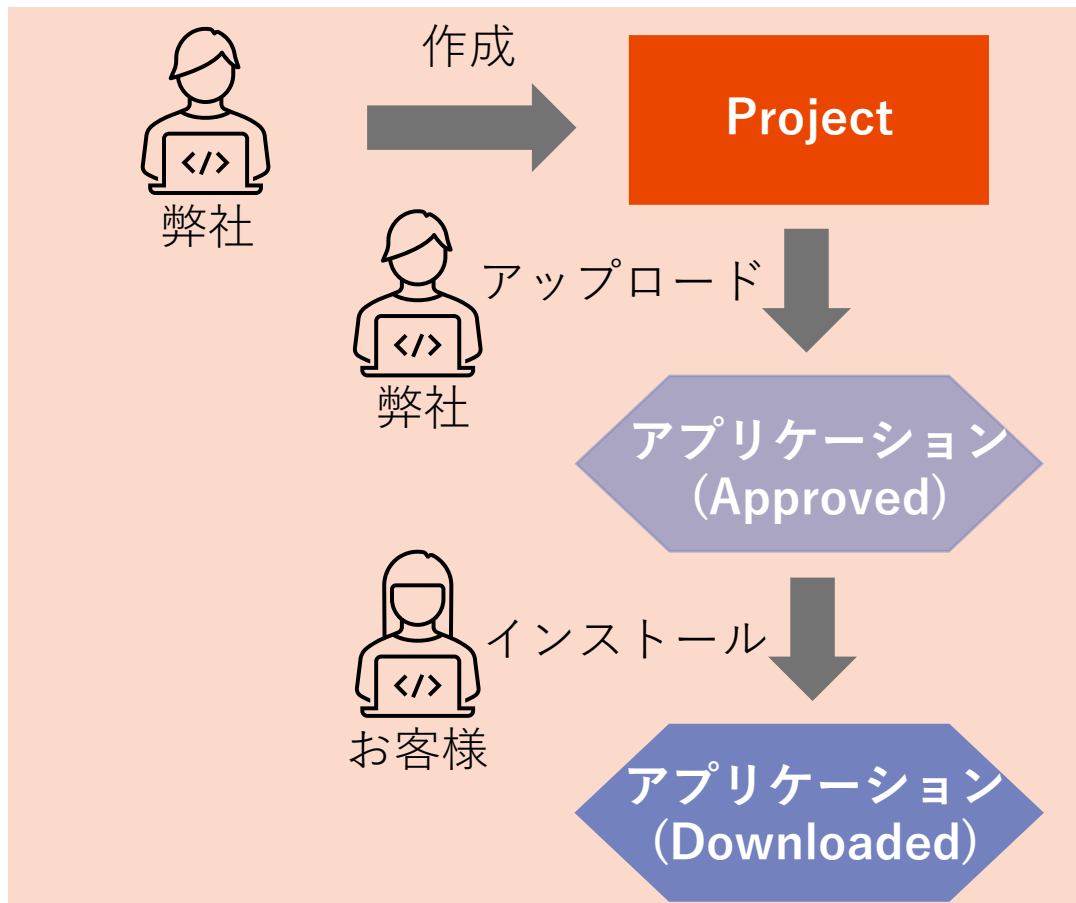
HULFT Squareのスク립ト、ジョブ作成における課題

- ✓ プロジェクトのコピーができない
- ✓ プロジェクトのバックアップを作成できない
- ✓ 作成したプロジェクト、ジョブをテンプレートとして組織内で共有できない

アプリケーション機能改善

2023.3(9月リリース)時点でのアプリケーション

2023.3時点のものは弊社のみがアプリケーションをAppSquare上に配置していた。
お客様は配置されたものをインストールすることでご利用できていた。

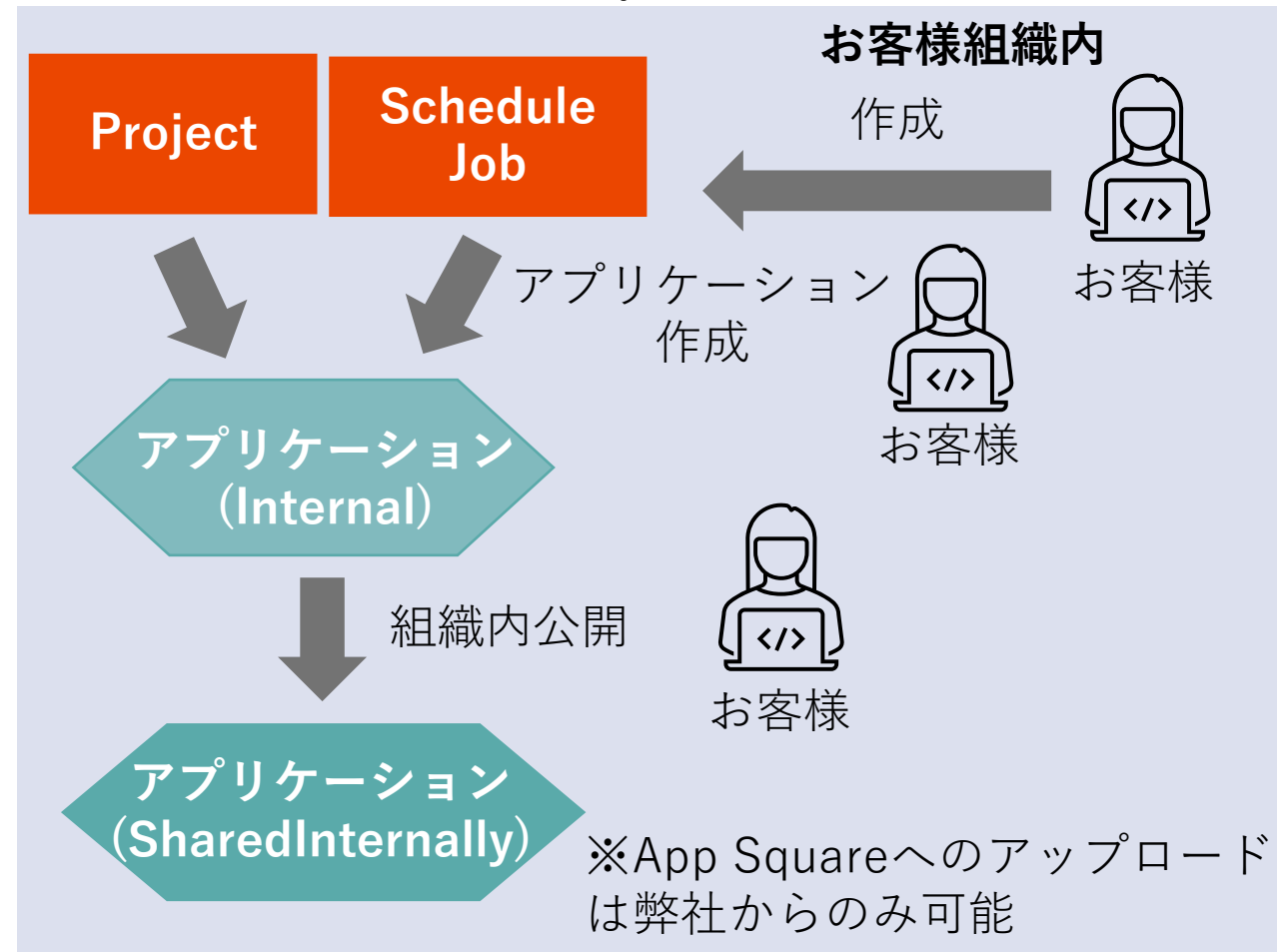
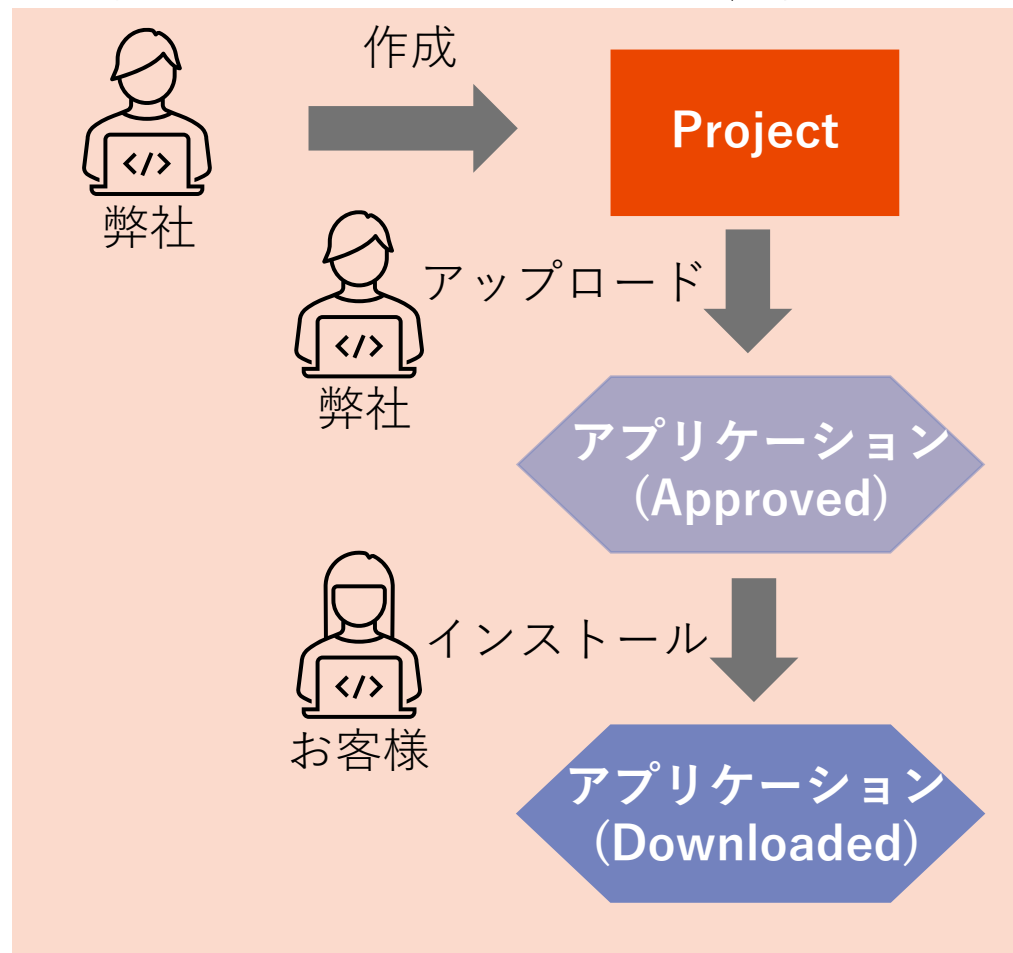


アプリケーションの提供から
利用のフローは一方通行

アプリケーション機能改善

組織内アプリケーションの追加

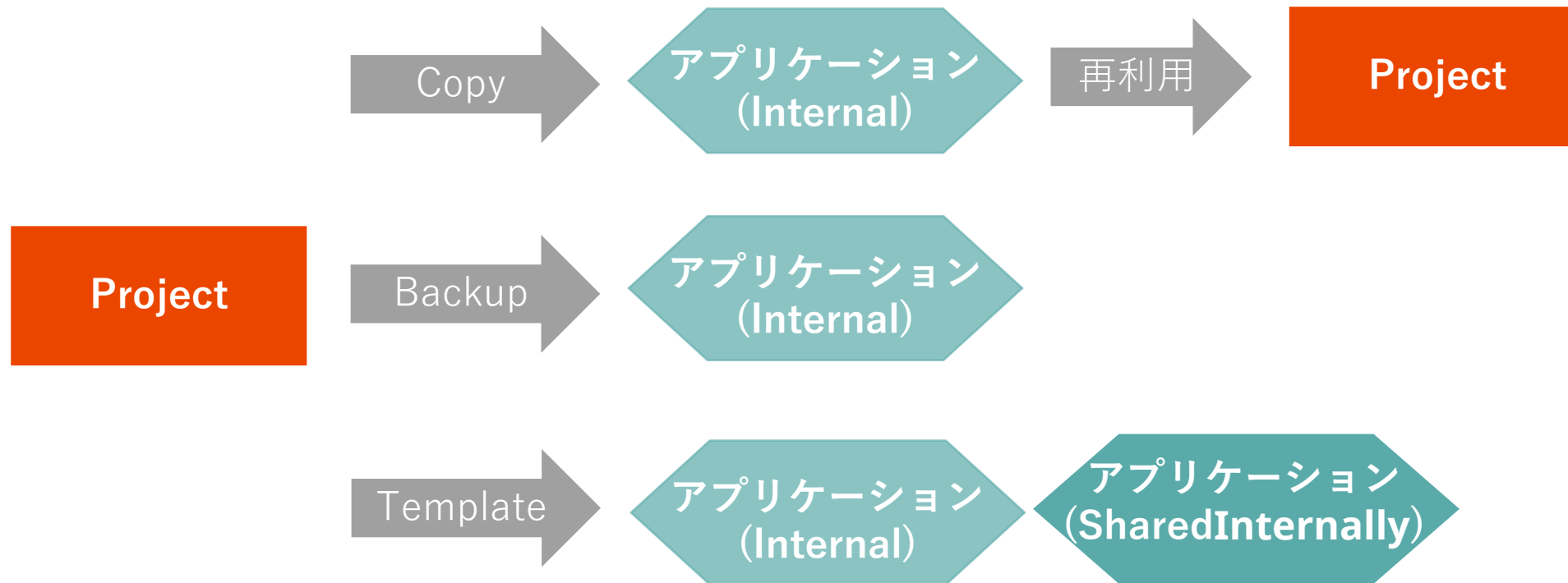
アプリケーションの作成手順を多様化し、お客様自身で作成可能に変更。
お客様がスクリプトを作成し、社内向けのテンプレートを提供できる。



アプリケーション機能改善

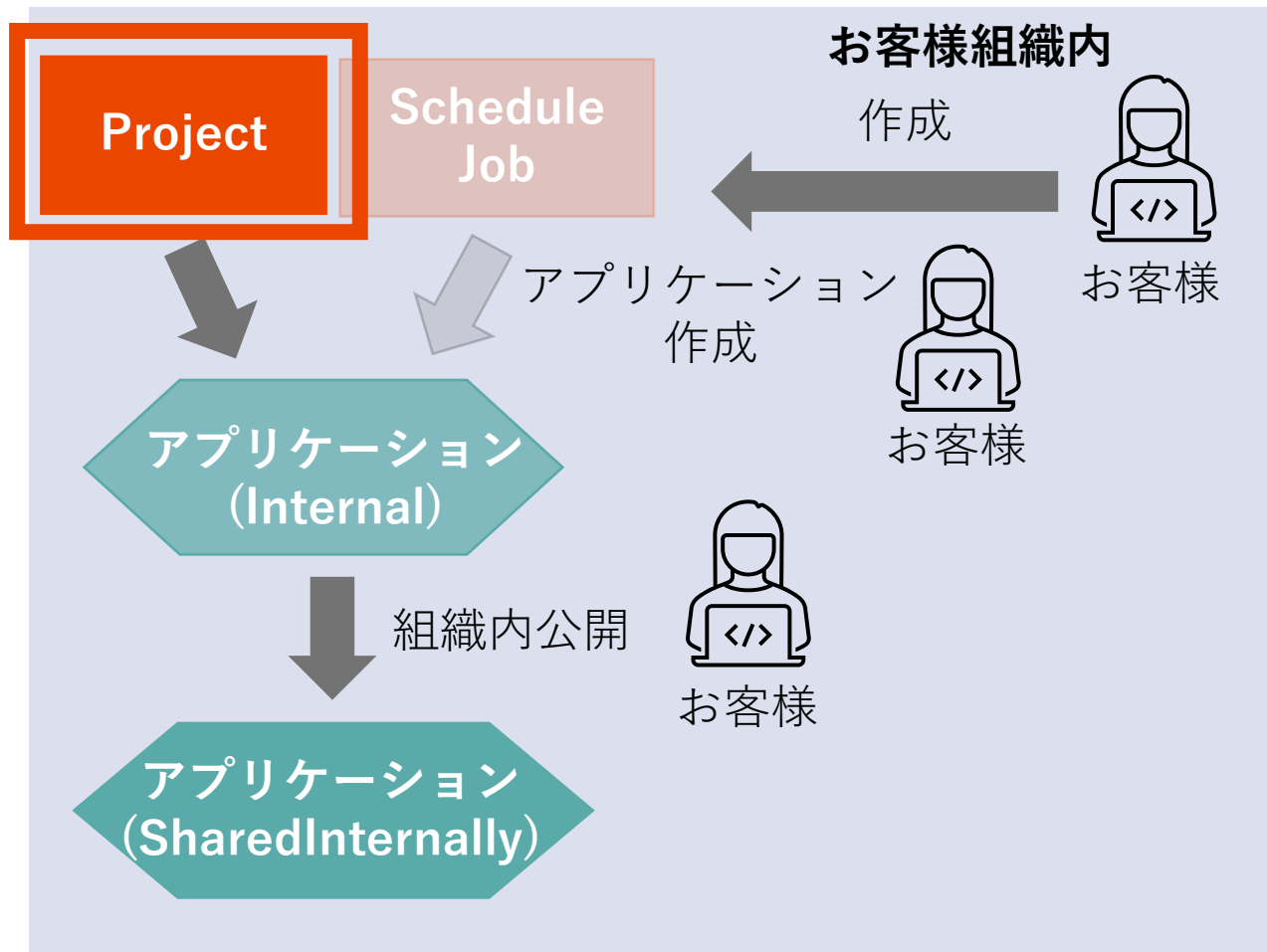
組織内アプリケーションでできること

1. プロジェクトのコピーと再利用
2. プロジェクトの一定時点のバックアップ
3. テンプレートとして組織内ユーザーに配布



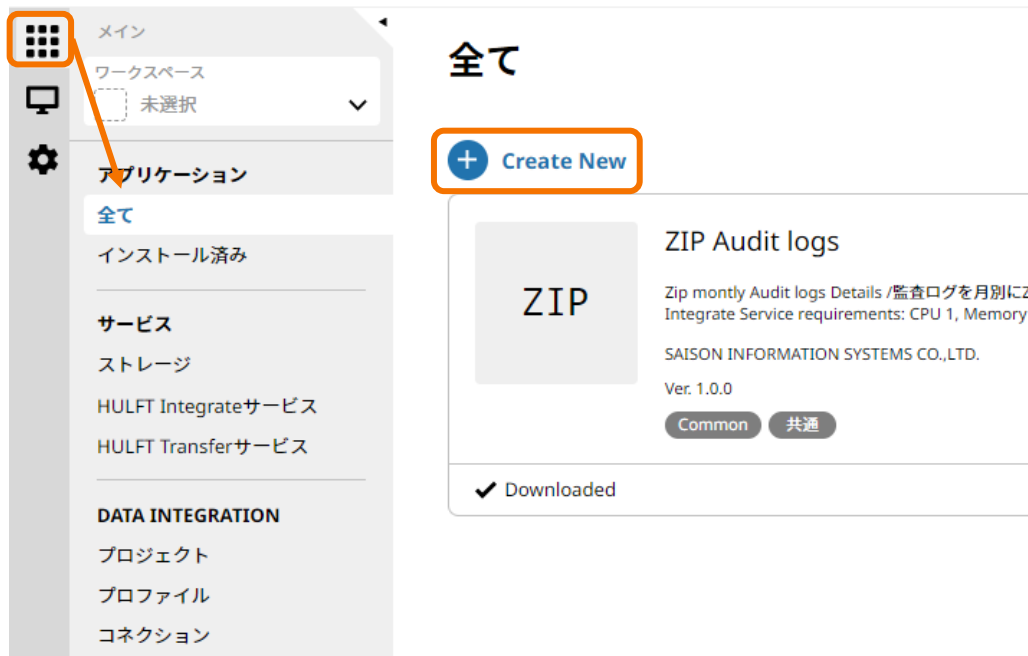
アプリケーション機能改善

アプリケーションの作成(プロジェクト)



アプリケーション機能改善

アプリケーションの作成(プロジェクト)



HULFT Squareで「アプリケーション」
> 「全て」を指定し、
「Create New」を選択します。

アプリケーション名、バージョン、
再配布ポリシーに任意の値を入力して
「次へ」を押します。

※再配布ポリシー：ONならコピー可能

アプリケーション機能改善

アプリケーションの作成(プロジェクト)

Q リリース

✓	Name	Version	Project
✓	リリース説明会_sample	1	2023.4_リリース説明会用

対象のスキriptとバージョンを指定し、「次へ」を選択します。



Integrate Service *

Profile *

Contained scripts and depended resources


▼ リリース説明会_sample ✓

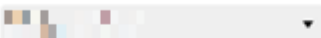
リソースがありません

Integrateサービスとプロファイルを指定し「Test Scripts」を選択します。

アプリケーション機能改善

アプリケーションの作成(プロジェクト)

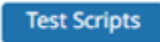
Integrate Service * 

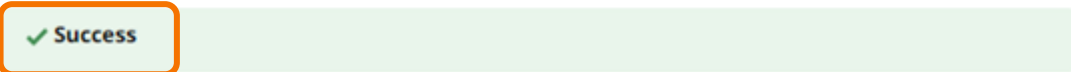
Profile * 

Contained scripts and depended resources

▼ リリース説明会_sample ✓

リソースがありません







以下の設定で作成します。

Application Name リリース説明会用App

Description

Version 1.0.0

Publisher

Tags

Re-distribution policy On

Name	Version	Project
リリース説明会_sample	1	2023.4_リリース説明会用

キャンセル

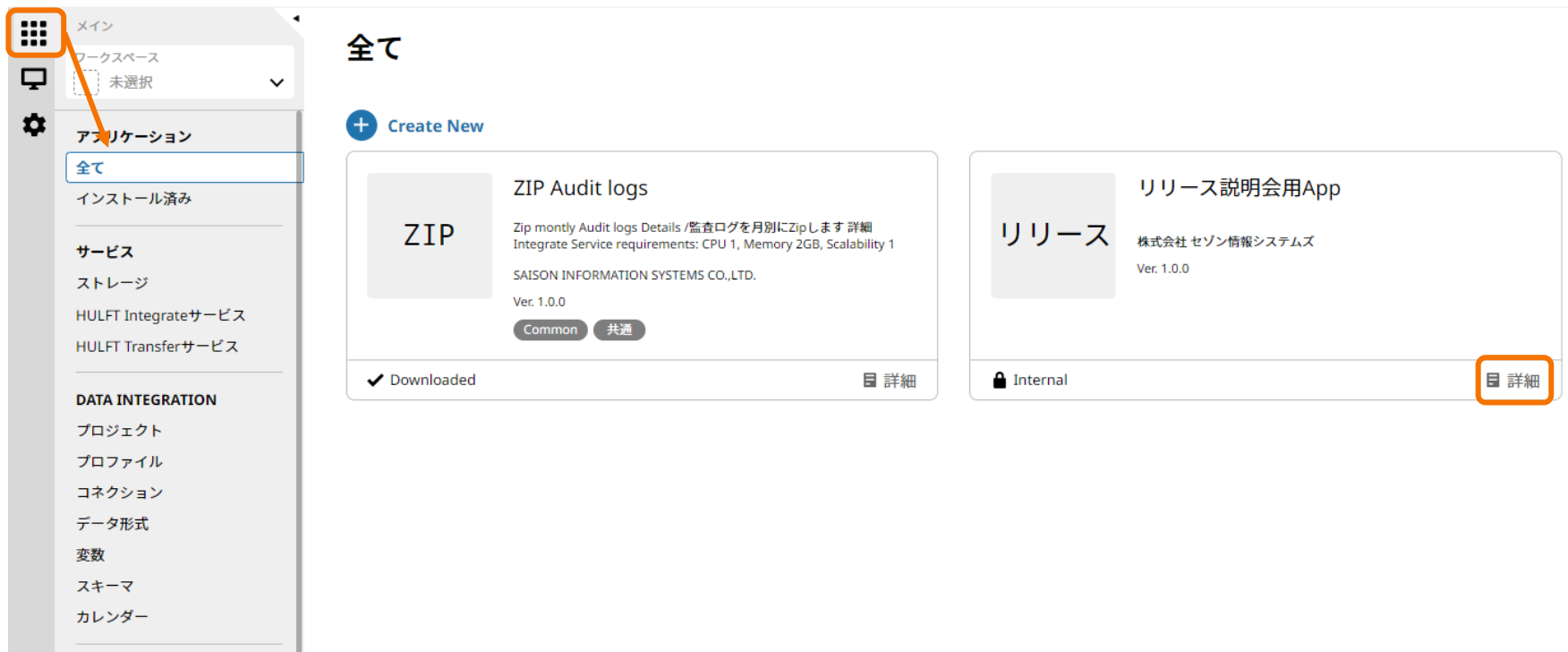


Successと表示されたらテストは成功です。
「次へ」を選択します。

サマリが表示されるため、問題ないか確認し
「完了」を選択します。

アプリケーション機能改善

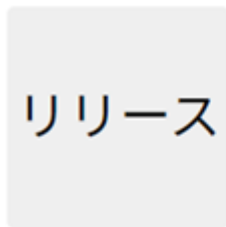
アプリケーションのコピー



HULFT Squareで「全て」を指定し、
コピーしたいアプリケーションの「詳細」を選択します。

アプリケーション機能改善

アプリケーションのコピー



バージョン 1.0.0
発行者 株式会社 セゾン情報システムズ

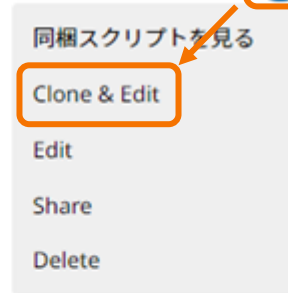
詳細

Not defined

再配布

redistributable

プロフィール



⋮ アクションメニューの「Clone & Edit」を選択することでコピーが可能です。
※再配布ポリシーがOFFの場合表示されません。

アプリケーション機能改善

アプリケーションの共有

リリース

バージョン	1.0.0
発行者	株式会社 セゾン情報システムズ

詳細

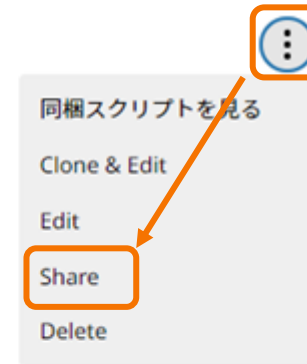
Not defined

再配布

redistributable

プロフィール

< Default >



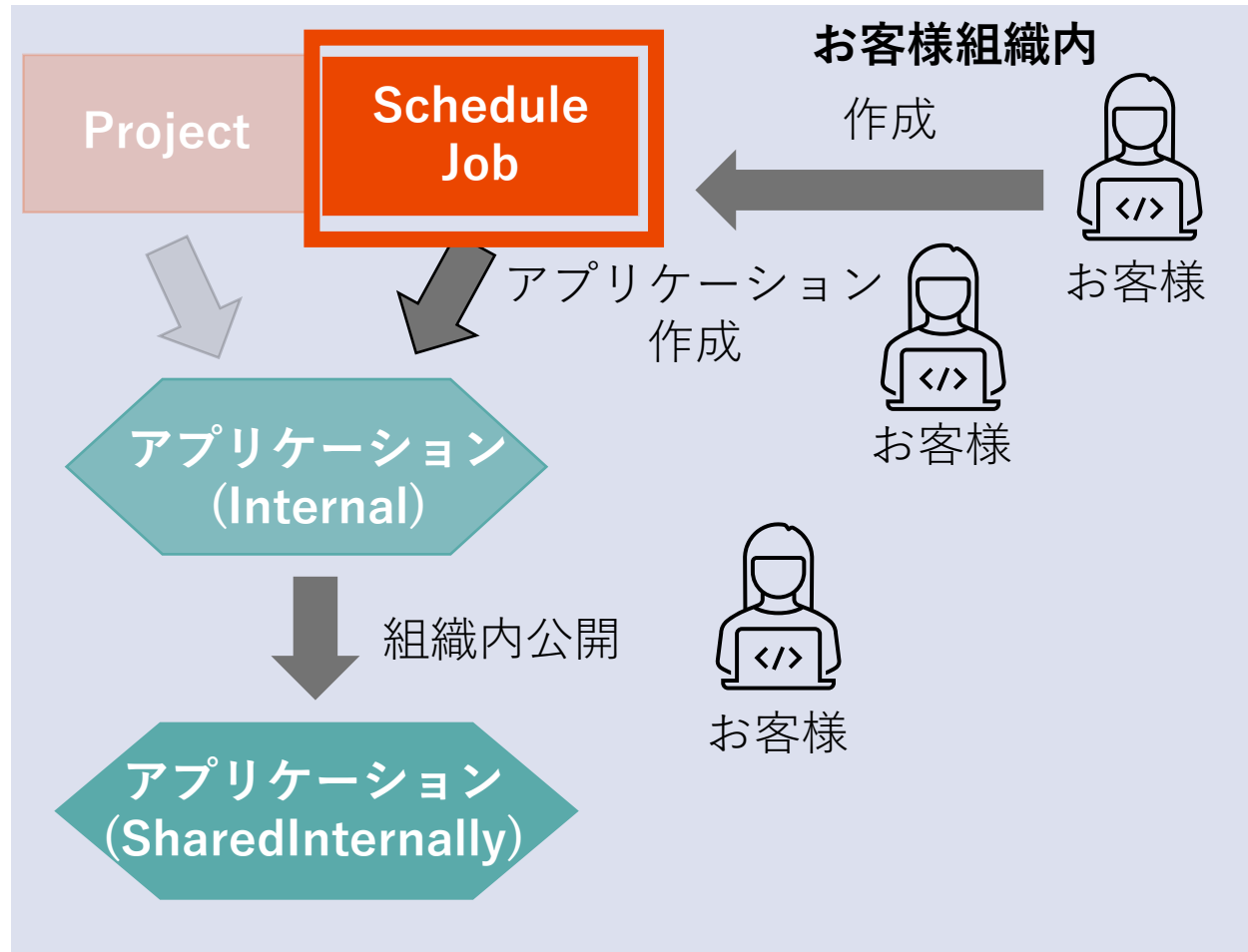
同梱スクリプトを見る
Clone & Edit
Edit
Share
Delete

The image shows a vertical action menu with a three-dot icon at the top. An orange arrow points from the icon to the 'Share' option, which is also highlighted with an orange box. Other options include '同梱スクリプトを見る', 'Clone & Edit', 'Edit', and 'Delete'.

アクションメニューの「Share」を選択することで
組織内の全員がこのアプリケーションを参照できるようになります。

アプリケーション機能改善

アプリケーションの作成(スケジュールジョブ)



アプリケーション機能改善

アプリケーションの作成(スケジュールジョブ)

ジョブ>
スケジュールジョブ

ワークスペース:  | リセット

+ 追加

名前:

ステータス	名前	ワークスペース	繰り返し	期間	タイムゾーン
	2023.4リリース説明会用スケジュールジョブ		毎月 20日 15:00	2024/02/06 - 2024/02/06	(UT)

1 / 1

- 情報
- ジョブを有効化
- 実行履歴
- + Create a new Application**
- 削除



Application Name *

Description ?

Version * ?

Publisher 株式会社 セゾン情報システムズ

Tags Select...

Re-distribution policy * On Off

キャンセル

作成したいスケジュールジョブのアクションメニューより「Create a new Application」を選択します。

アプリケーション名、バージョン、再配布ポリシーを入力後、「次へ」を選択します。

アプリケーション機能改善

アプリケーションの作成(スケジュールジョブ)

以下の設定で作成します。

Application Name	リリース説明会用ジョブApp2
Description	
Version	1.0.0
Publisher	株式会社 セゾン情報システムズ
Tags	
Re-distribution policy	On
プロジェクト	2023.4_リリース説明会用 
バージョン	12
スクリプト	リリース説明会_sample (Ver.8) 依存関係
繰り返し	月
月単位の予定	日付指定
日付	20
月の最終	False
時刻	15:00
開始日	Feb 6, 2024

キャンセル

完了

サマリが表示されるので「完了」を選択します。

アプリケーション機能改善

アプリケーションの実行(スケジュールジョブ)

再配布

redistributable

プロファイル



Configureされていません

Configure

先ほどスケジュールジョブから作成したアプリケーションの詳細を開き、実行したいプロファイルを選択したのちに「Configure」を押します。

アプリケーション機能改善

アプリケーションの 実行(スケジュールジョブ)

トリガ条件

▼ 2023.4リリース説明会用スケジュール ジョブ (Execute: リリース説明会_sample)

Enabled

繰り返し* 秒 ▼

間隔* 0

開始時間* --:-- ⌚

終了時間* --:-- ⌚

開始日*

終了日*

タイムゾーン* タイムゾーンを選択

Test

キャンセル

適用

トリガ条件を設定し、適用することによってアプリケーションに含まれるスクリプトを**設定したタイミング**で実行することができます。

2024年1月リリース

操作体験の向上

通知機能

エラー・異常
利用状況

スクリプト 依存関係

スクリプトバージョン管理

アプリケーション機能 (正式リリース)

RESTAPI実績

ダッシュボード
呼び出し実績

コネクタ強化

PostgreSQL 15対応

課題改善

7+の修正・改善

その他の改善機能

REST API Jobの実行回数の表示

モニタリング  > ダッシュボードより閲覧可能



その他の改善機能

監査ログの改善

スクリプトの詳細ログが保存可能

コネクタ

PostgreSQLコネクタがPostgreSQL 15に対応

他にも修正された課題がございます。

詳しくは[HULFT Square Documentation >リリースノート](#)をご参照ください

The image features decorative floral patterns in the corners. The top-right corner has a cluster of overlapping petals in shades of orange and yellow. The bottom-left corner has a larger, more dense pattern of similar overlapping petals. The central text is set against a plain white background.

HULFT

Move knowledge. Move markets.